

## ティーチング・ステートメント

所属 薬学部薬学科  
名前 岩山 訓典  
作成日 2022年3月10日

### 【責任】

臨床系教員として「薬と疾病」や「臨床薬学実習」などの講義・実習を通じて薬剤師に必要な知識・技能・態度の習得ができるように教育をしています。また、研究指導では、医療現場で生じている疑問や未解決の問題点（臨床的問題点）を取り扱い、医学・薬学的観点からこれらの問題を解消し、その成果を医療現場に還元することで最終的に患者さんの医療の質向上が達成できるように日々研究に取り組んでいます。

### 【理念】

学生には、①医療人として、多職種連携を通じて患者さんの医療の質向上に貢献できる薬剤師、②学問（主に薬学）と医療を関連付けて臨床的問題点を解決し、医療に貢献できるファーマシスト・サイエンティスト（薬剤師かつ科学者）になってほしいと考えています。医療現場では、多職種連携や根拠に基づく医療の提供が今後も重要になっています。

これらの理念を持って、教育に携わることで学生には「自分の価値を見出すことの面白さ・楽しさ」を感じてほしいと思います。

### 【方針・方法】

上記の理念を達成するために学生が「どの程度理解できているのかやるべきことを把握する」、「コミュニケーション能力の習得・向上」、「モチベーションの維持・向上と前向きに考える姿勢を身に着ける」、「研究マインドを常に持ち、臨床的問題点の発見と解決方法を習得する」を達成できるように教育します。

#### ・どの程度理解できているのか、やるべきことを把握する

学生自身が、どの程度理解できているのか、理解を深めるためにどのように対応すべきなのかを客観的に把握する機会を講義中の確認問題（国家試験の過去問題やオリジナル問題）等を通じて提供します。また、正答率が低い場合には、解説を行い、やるべき事を明確にするきっかけを作ります。

#### ・コミュニケーション能力の習得・向上

多職種連携には、コミュニケーションは必要不可欠です。他者との関係性を構築するために「学生が能動的にアクセスしやすい環境作り」、「講義・実習に興味を持つような説明文の習得」を心掛けています。

#### ・モチベーションの維持・向上と前向きに考える姿勢を身に着ける

小さな成功体験を積み重ねることによって、モチベーションの向上に努めます。さらに薬剤師的視点からのアプローチを例示することで薬剤師になる意欲を高めます。また、前向きな姿勢で物事を考えることで、より良いアイデアを立案できるように教育にあたります。

#### ・研究マインドを常に持ち臨床的問題点の発見と解決方法を習得する

常に物事に対して「なぜ？」と思うように思考力を養い、どのように問題点を解決したら良いのか卒業研究等を通じて考える機会を提供します。研究テーマを考える際やどのような方法で解決するのか、得られた結果について考察できる力を養います。

### 【成果・評価】

- ・ 臨床的問題点を様々な方法で解消できたことを発信していきます。  
→論文、学会発表
- ・ 臨床での経験談や最近の現場での実情の話を織り交ぜる講義は、興味を持って取り組めたと学生から評価をもらっています。  
→アンケート結果

### 【目標】

- ・ 他の科目との関連性を意識させる講義を展開し、考え方の視野を広げる、モチベーションの意欲の向上に努めます（2022年度）。
- ・ 最新の医療情勢を踏まえた講義・実習を行うには、自分自身が学ぶ必要があるため学会参加や現場研修を行い、学生に還元します（2022年度）。
- ・ 認定・専門薬剤師および学位取得を支援し、医療現場で活躍するファーマシスト・サイエンティストを養成します（2023年度）。